2025 年度 第 1 回くすり・調剤事務分野教育課程編成委員会 議事録

1. 日時
2025 年 9 月 8 日（月） 13:30～15:00

2. 場所
オンライン（本校会場：会議室）

3. 出席者（順不同・敬称略）
企業等委員：本吉淳一（一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会　事務局長）、三上真理子（株式会社ツルハ　管理本部採用グループ課長）
本校委員：川口拓也（校長）、渋谷大樹（くすり・調剤事務科学科長代理）、清水之雅（くすり・調剤事務科教員）、榊原幸之（事務局長）
委員会事務局：長尾勇介

4. 欠席者
本校委員：結城久美子（くすり・調剤事務科学科長）

5. 議長
渋谷大樹

議題等

1. 今年度委員の確認・紹介
　議長より今年度の委員構成が確認された。

2. 校長挨拶
　教育課程編成委員会の目的と位置づけに触れ、文部科学省より職業実践専門課程としての認定を受けていることを説明した。また、委員に対して、現在行っているカリキュラムが業界や業界団体の意図・水準に適正に沿っているか、また学生のレベルに合っているかを点検・評価していただきたいことを説明した。

3. 前回委員会議事録の確認
　議長より前回（2025 年 2 月 17 日開催）の議事録案が提示され、内容に異議なく承認された。

4. 2024 年度第 2 回委員会以降の主な経過について

議長より下記事項について、報告が行われた。

・在籍状況
・就職内定状況（2 年生）
・資格試験結果
・実習
・前期授業アンケートの結果
・学生生活
・ドラッグストアショー参加
・ホームカミングデー

5. 2025 年度第 1 回委員会での討議事項

（1）2025 年度・2026 年度カリキュラム変更点について

議長より下記事項について、説明が行われた。

・2025 年度カリキュラム

登録販売者試験の受験時期を 2 年次 9 月から 1 年次 9 月へ前倒する。夏期講習を実施し、早期合格を目指す体制へ変更した。これにより就職活動への意識向上など良い成果が見られた。

・2026 年度カリキュラム

「健康食品の知識」「病院の仕組み」を削除した。

「調剤事務管理」の開始時期変更、「メイクアップ実習 II」の追加、「登録販売者試験対策講座」の単位数増を行った。

（2）留学生の就職先について

現在の留学生のニーズがどのようになっているのか、求められる知識がどのようなものか、意見交換が行われた。

・住宅地・郊外型では、それほどニーズはない。しかし大阪、東京、札幌等のインバウンドのある店舗であれば、外国人は語学力においてニーズはある。登録販売者を持っていれば、さらに販売力で評価される。
・現場の声としては、英語、中国語等、様々な言語を話せる方がありがたいという意見がある。
・都心部にあるドラッグストアでは、インバウンドへのニーズがあると考えている。
・海外旅行者の免税制度が 2026 年 11 月から変わると言われているので、各企業はその対応も順次行っている。

（3）企業が求めるスキルとは

学科長代理より、今年度の入学生から美容系の資格を刷新し、学生のニーズが高い美容系科目に変更して、くすり・調剤・美容の 3 本柱を強化する旨の説明が行われた。

現在求められている資格やスキルについての意見交換が行われた。

・まずは、登録販売者を必要としている。
・登録販売者以外では、化粧品、医薬品、健康、介護ケアに関わることが求められる。
・オムツの相談が一番多いので、「おむつフィッター」いう資格を取れるようにしている。
・大手を中心に賃上げが行われており、薬剤師、医薬品関係者の手当も上げなければいけないという話がある。

6. 次回日程、その他

議長より、次回委員会の日程について案内があった。

開催時期：2026 年 2 月頃

討議内容（予定）：登録販売者試験の試験内容、合格状況などについて、企業連携促進について

詳細な日程については、改めて調整の連絡を行うことが確認された。

7. 閉会

議長より閉会の挨拶があり、各委員への謝辞が述べられた。